

令和5年度

わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～



はじめに

新型コロナウイルス感染拡大から4年目となる今日、コロナ対策は大きな転換点を迎え、ウィズコロナ、そしてアフターコロナへと移行していくこととなります。

また、国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等により、日常生活をおくる上で必要不可欠なエネルギー・食料等の価格上昇が続き、世界的にも景気後退の懸念が高まっております。

さらに、人口減少・高齢化の進展とともに、国全体の少子化は急速に進展しており、市においても少子化対策・子ども子育て支援は最大の課題となっております。

こうした状況を踏まえ、令和5年度は「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として掲げた上で、特に「笠間まるごと子育て都市宣言」、「かさまち娘応援（女性活躍）」、「台湾交流・深化」を重点プロジェクトとした施策を展開するとともに、引き続き、感染症や物価高騰等への機動的な対応、持続する日常生活と地域経済の環境構築に向けた取り組みを強力に推進します。

笠間の未来を創るため、目の前の課題に対し、常にスピード感をもって、柔軟かつ的確に対応するとともに、市民の皆さまのニーズに応える施策、そして、新たな時代を見据えた、将来につながる施策を確実に実施してまいります。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年3月

笠間市長 山口伸樹

— 目 次 —

I	予算の概要	1
II	重要事務事業	2
III	各会計の予算額	11
	一般会計	11
	国民健康保険特別会計	13
	後期高齢者医療特別会計	13
	介護保険特別会計	14
	介護サービス事業特別会計	14
	病院事業会計	15
	水道事業会計	16
	工業用水道事業会計	17
	下水道事業会計	18
IV	笠間市の財政状況について	19
V	基金の状況	20
VI	市債の状況	22

I. 予算の概要

過去最大!!

令和5年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は600億1,390万9千円であり、前年度と比較すると35億7,900万2千円（6.3%）の増となっています。

一般会計の7億6,000万円（2.3%）の増と水道事業会計の16億2,424万円（59.2%）の増が主な増要因です。



【令和5年度会計別予算状況】

（単位：千円、%）

会計名	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	33,270,000	32,510,000	760,000	2.3
特別会計	16,377,000	16,722,000	▲ 345,000	▲ 2.1
国民健康保険特別会計	7,526,000	7,394,000	132,000	1.8
後期高齢者医療特別会計	1,077,000	1,011,000	66,000	6.5
介護保険特別会計	7,752,000	7,710,000	42,000	0.5
介護サービス事業特別会計	22,000	21,000	1,000	4.8
農業集落排水事業特別会計	-	586,000	▲ 586,000	皆減
企業会計	10,366,909	7,202,907	3,164,002	43.9
病院事業会計	1,053,622	1,066,160	▲ 12,538	▲ 1.2
収益的支出	1,001,028	986,513	14,515	1.5
資本的支出	52,594	79,647	▲ 27,053	▲ 34.0
水道事業会計	4,368,208	2,743,968	1,624,240	59.2
収益的支出	1,751,350	1,655,453	95,897	5.8
資本的支出	2,616,858	1,088,515	1,528,343	140.4
工業用水道事業会計	28,472	25,571	2,901	11.3
収益的支出	28,472	25,571	2,901	11.3
資本的支出	0	0	0	-
下水道事業会計	4,916,607	3,367,208	1,549,399	46.0
収益的支出	2,388,449	1,749,819	638,630	36.5
資本的支出	2,528,158	1,617,389	910,769	56.3
合計	60,013,909	56,434,907	3,579,002	6.3

※令和5年度から農業集落排水事業会計と公共下水道事業会計をあわせて下水道事業会計となります。

一口メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業を行う時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算制方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計

II. 重要事務事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症への対応の変化、世界規模の物価高騰がみられる中で、ウィズコロナの下での社会経済活動の正常化を進めていくとともに、エネルギー・食料品等の物価上昇に対して、引き続き機動的に対応していく必要があります。

また、脱炭素社会の実現や人口減少、少子化・高齢化などの課題解決に向けては、分野を超えた複合的な対応が求められています。

これらを踏まえ、デジタル化の深化、脱炭素社会の推進、多様な人材の確保を継続的な視点としながら、「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として設定し、特に「子育て世代」「女性」に着眼した施策の強化を図りながら、感染症や物価高騰等への機動的な対応とともに、仕組みの見直しを含めた持続する日常生活と地域経済の環境構築に向けた取り組みを強力に推進してまいります。

○主な重要事務事業

SDGs・・・貧困や不平等、気候変動など、地球全体に関わるあらゆる問題を解決し、持続可能な社会へ変えていくため、2015年国連で定められた17項目の持続可能な開発目標。

【 重点プロジェクト 】

笠間まるごと「子育て都市」
宣言プロジェクト

新規
拡充

225,067千円

「保育・教育環境」「保健・医療・福祉環境」「文化・スポーツ環境」にそれらを支える「都市基盤」まで、全分野が一体となった取り組みを推進し、「笠間まるごと子育て都市」元年として、再強化を図り、教育・保健分野の拡充に加えて経済的な支援の強化策を展開します。

生活応援

小学校入学	
エコランドセル・プレゼント事業【新規：市単独】	10,920千円
スマートで軽いランドセル（PETボトル再生繊維）を支給	
中学校入学	
制服等購入支援事業【新規：市単独】	19,200千円
制服購入費（30千円/人）を支援	
	小・中共通
第三子給食費無償化事業【新規：市単独】	13,893千円
小・中学校における第三子以降の給食費を無償化	
学校給食費負担軽減事業【新規：市単独】	33,546千円
材料・燃料高騰等の影響がある中で給食費の現状を維持	
オーガニック給食推進事業【新規：市単独】	558千円
学校給食における地産地消によるオーガニック給食の提供 (モデル校：北川根小学校)	
高校進学等	
高校生等生活応援事業【新規：市単独】	30,000千円
新たな生活の準備費（50千円/人）を支援	
	妊娠・出産
出産・子育て応援事業【新規：国県補助】	16,950千円
妊娠（50千円/人）・出産（50千円/人）時の給付 外、出産育児一時金の増額（500千円）も4月から開始	
在宅育児応援事業【新規：市単独】	12,000千円
妊娠・出産による離職等をした在宅子育て世帯を支援 (200千円/人)	

安心の醸成

妊産婦・小児等	
医療福祉費支給制度所得制限の撤廃【新規：市単独】	58,180千円
妊産婦、0～18歳、ひとり親家庭、重度心身障がい者の医療福祉費支給制度の所得制限を完全撤廃	
母子保健事業（1か月児健診助成）【新規：市単独】	2,001千円
妊娠期から幼児期の各種健診事業に加え、新たに1か月児健診の受診費を助成	
医療的ケア児保育支援事業【新規：国県補助】	15,976千円
医療的ケア児学校訪問看護事業【新規：国補助】	4,641千円
保育園・学校等における医療的ケア児の看護体制を構築 外、市立病院において医療的ケア児対応看護師を養成【市単独】	

住環境の向上

集う・憩う場所の増加	
笠間SC周辺リノベーション研究事業【新規：市単独】	1,000千円
既存の公園等に加え、商業施設と一体となった笠間SC周辺における場の創設に向けて研究を開始 外、あたご天狗の森公園リノベーション等を実施	
公営住宅子育て世帯支援事業【市単独/国県補助】	6,202千円
公営住宅（福原）の居住する子育て世帯の家賃等の実質無償化	

かさまち娘応援プロジェクト (女性活躍)

新規

今後の地域経済と社会の持続・成長に向けて、さらなる女性の活躍は欠かせないことから、挑戦する女性を応援する「かさまち娘応援プロジェクト」を展開します。

○頑張る女性応援事業外

4,800千円

「事業を起こしたい。」「自分のお店を出したい。」「資格やスキルを身に付けて新たな仕事に就きたい。」「今の職場でステップアップしたい」など、女性のチャレンジを応援します。

「かさまち娘応援窓口(仮称)」

- ・意欲を持ってチャレンジする女性の相談に寄り添います。
- ・頑張る女性のため必要な支援の窓口につなぎます。

市の支援メニュー

その他
国や商工会などの支援

資格取得支援

就職したい、仕事のスキルアップをしたいなど、女性の新たなチャレンジを支援します。資格や技術を取得するための講座等受講費用等の一部を助成します。

創業支援

お店を開きたい、自分の会社を興したいなど、市内での創業を目指す女性を支援します。創業のスタートとなる創業事業計画作成支援を行います。また、創業に際して補助を行います。

●働きたい女性を支援
ハローワークでの求職相談、教育訓練費給付制度など

●起業したい女性を支援
商工会による経営相談、各種融資制度など

台湾交流・深化プロジェクト (台湾交流事務所5周年)

新規

令和5年度は、台湾交流事務所の設立5周年を迎えることから関連する記念事業をはじめとして、これまでの観光、農産物等の交流に加え、教育、行政等、分野の拡大を図りながら、連携と交流の効果を確実なものとする取り組みを展開します。

18,517千円

台湾交流記念事業【新規：市単独】 1,766千円
台湾交流事務所5周年を記念した訪問ツアーを造成

インバウンド・アウトバウンド
訪日団体旅行客促進事業【新規：市単独】 1,000千円
運航が再開する茨城-台北に加え、茨城-高雄のチャーター便により往來の増加が見込まれる台湾南部を対象としたインバウンド観光等の促進を図ります。

教育・文化
中学生台湾派遣事業【新規：市単独】 4,914千円
市内中学生による訪問団を結成し、台湾の学生等との交流、文化等の体験をおとし市が目指すグローバル人材の育成を図ります。

歴史交流促進事業【新規：市単独】 550千円
日本と台湾の歴史を伝える飛虎将軍展の開催をとおして、相互の理解と交流の拡大を図ります。

教育交流拡大事業【新規：市単独】 500千円
台湾内の大学と中学校等の語学交流、フィールドワークの受入れ等をはじめとして、相互の人材育成と確保、成長に資する台湾内の大学との連携、交流を推進します。

スポーツ
スポーツ交流促進事業【新規：市単独】 5,235千円
スナックゴルフ大会への招待、台湾での指導等の実施、また、プロスポーツ(野球)との連携による交流事業など、スポーツ分野での交流拡大を図ります。

産業(笠間の業)
笠間の業プロモーション事業【新規：市単独】 4,552千円
笠間の業の高ブランド化に向け、台湾のホテルなどを中心とした利用等を促進し、収益性のある輸出拡大を図ります。

【都市基盤】

新産業拠点整備の加速化

拡充

今後の企業立地の受け皿のひとつとして、安居工業地域の企業立地及び道路等の基盤整備について、整備を加速するとともに、地権者会と連携した企業誘致についても並行して推進します。

○安居工業地域整備推進事業



395,118千円



スマート公共交通モデルの形成

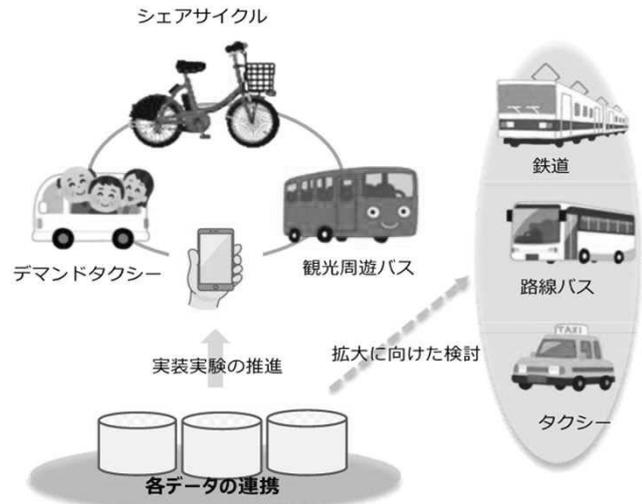
新規
拡充

デマンドタクシーのサービス向上に向けた見直しを中心として、民間企業による事業との連携を図りながら、移動手段をつなぐMaaS (mobility as a service) の概念に基づく取り組みの実験などをおとして、生活者と来訪者の双方にとって利用しやすく、持続性のある公共交通網の再編に向けた取り組みを推進します。

○公共交通対策事業外4事業



265,630千円



北関東自動車道笠間PAスマートIC整備の促進

拡充

高速道路の利便性の向上、観光・産業を中心とした地域の活性化及び災害・緊急時の対応強化を図るため、笠間PAスマートIC整備事業を促進します。

○笠間PAスマートIC整備事業



150,160千円



道路交通安全対策の強化

新規

橋梁長寿命化修繕計画に基づいた定期点検と修繕を実施します。道路の舗装においては新たに劣化の進んだ路面状況の調査・測量設計と、踏切安全対策の強化として拡幅工事や舗装修繕工事を実施します。

また、主要道路のサイクリング環境を整備することで、より一層の道路施設の利便性の向上を図ります。

○道路メンテナンス事業（橋梁）外3事業



170,659千円

安全で快適な道路環境



消防強靱化の推進

新規
拡充

消防を取り巻く環境の大きな変化に的確に対応するため、笠間市消防強靱化計画（R4～R8）に基づき施策を推進していきます。

○消防庁舎整備事業外3事業



742,698千円

笠間市消防強靱化計画の内容

人材育成

現場対応力の向上

就労環境の向上

①消防・救急・予防体制の強化

消防体制の強化、救急体制の強化、予防体制の強化
職員の増員、車両整備計画と適正配置

②消防団の充実

消防団のイメージアップ
消防団活動の在り方の検討と団員装備の充実強化
機能別消防団員制度の導入
分団の統合再編

③消防庁舎の建て替え

災害に強い新庁舎、職員の就労環境の改善、庁舎整備計画

脱炭素先進都市への挑戦

脱炭素に向けた取り組みが本格化していく中、本市としても積極的に脱炭素を進めるため、市民や事業者との連携強化を図りながら地域脱炭素の早期実現に向けた取り組みを推進していきます。

○脱炭素社会実現事業



44,332千円

地域脱炭素の実現を目指して

継続して実施

新たな取組



2050年を待たずに
地域脱炭素の実現を目指す！

環境先進都市 Casama ゼロ・カーボン

廃棄物処理体制の強化

新規

笠間市環境センターは、老朽化への対応が課題となっていることを踏まえ、新たなごみ処理施設を整備するための基本計画や事前調査、施設の発注図書作成や事業者の選定などの準備を進めます。

また、最終処分場は諏訪クリーンパーク第1期分の埋立てが完了し、第2期分が供用を開始することに伴い、稼働する浸出水処理施設の運営事業を行っていきます。

○清掃施設建設事業外1事業



56,941千円



【健康・福祉】

結婚・妊娠・出産期の 一体的支援の推進

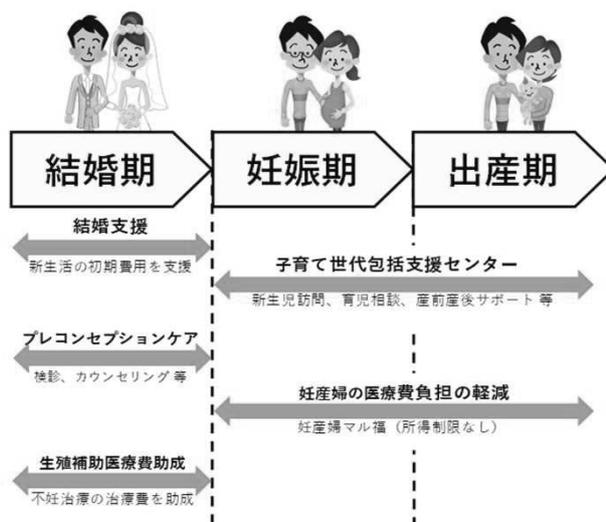
新規
拡充

少子化が進む中、結婚・妊娠・出産期におけるさまざまな不安や経済的負担に対して、安心して子どもを産み育てやすい環境のさらなる向上を図っていくことが重要です。結婚から妊娠・出産に至る各場面において、相談、各種助成などの支援を行っていきます。

○結婚支援事業外4事業



34,564千円



安心できる子育て環境 の充実

新規
拡充

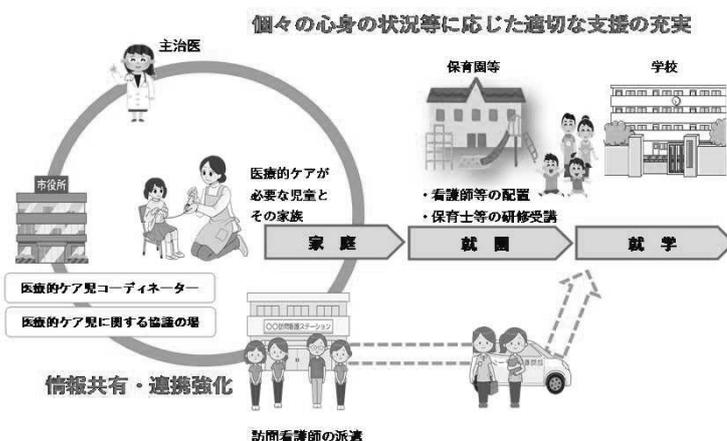
子どもと家庭をめぐる問題が複雑・多様化する中、さまざまな困難に直面している子どもたちへの支援の重要性が高まっていることから、子どもたちの情報を共有するシステムを構築するとともに、居場所の提供や医療的ケア児の受け入れを可能とするための支援体制を整備し、誰もが安心して過ごすことができる社会の実現をめざします。

○医療的ケア児保育支援事業外11事業



116,220千円

医療的ケア児保育支援事業 / 医療的ケア児学校訪問看護事業



幼児保育・教育環境の充実

新規
拡充

女性就業率の上昇や世帯構成の変化、幼児教育・保育無償化制度の導入により、保育需要の増加とニーズの多様化に対応するため、保育体制の強化や保育士の確保及び離職防止の事業を実施します。また、民間認定こども園の整備に対する支援を行い、保育環境の整備を進めます。

○保育対策総合支援事業外9事業



173,390千円

多様化する福祉ニーズ への支援の充実

新規

障がい者・高齢者・生活困窮者・ひきこもりの方など、さまざまな生活課題を抱え、生きづらさを感じている方が増加する中で、さまざまなニーズに対し、きめ細かく対応していくため、新たに「一時生活支援（生活困窮者への住居支援）」や「医療的ケア児への支援」に取り組み、関係機関との更なる連携の充実を図ります。

○一時生活支援事業外10事業



167,395千円

【 産 業 】

戦略的な観光の推進

新規

令和5年の秋季（10～12月）に開催される茨城デスティネーションキャンペーン（茨城DC）の開催にあわせて、笠間の秋を満喫するツアー等を実施します。

また、設立5周年を迎える笠間台湾交流事務所を中心に、インバウンド再開を契機とし、積極的なプロモーションをかけることでインバウンド誘客促進を図るとともに、これまで築いた台湾との連携交流をさらに進め、設立5周年を記念した台湾向けアウトバウンドツアーを実施します。

○台湾交流事業外2事業



41,095千円



B.B.BASEバス



春風萬里荘



台湾交流



交流拠点の再生と魅力の向上

新規

観光関連施設は、整備されてから数十年経つ施設が多く、経年劣化、老朽化が著しく進行していることから、施設の大規模改修を計画的に進めていきます。今年度は、クラインガルテン改修設計、笠間工芸の丘改修、あたご天狗の森公園リニューアル（再整備）を実施し、交流拠点の魅力の向上を図っていきます。

○笠間工芸の丘改修事業外2事業



436,921千円



笠間焼誕生250年成長戦略の推進

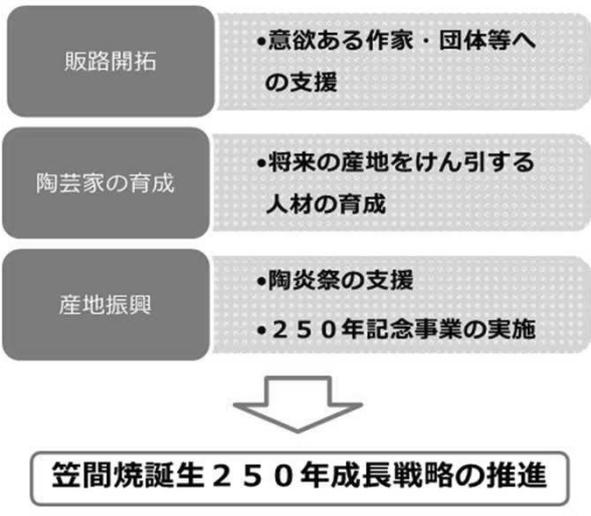
令和4年に誕生250年を迎えた笠間焼。この節目を契機に、産地の成長戦略として「販路開拓」「陶芸家の育成」に重点を置いた支援策を展開していきます。

また、令和2年から3か年で実施した「JAPANブランド推進事業」においては、イギリスをターゲットとした販路開拓を進めてきましたが、引き続き笠間焼協同組合が主体となり、事業を継続していきます。

○地場産業支援事業



24,880千円



儲かる「笠間の栗」産地づくりの推進

新規
拡充

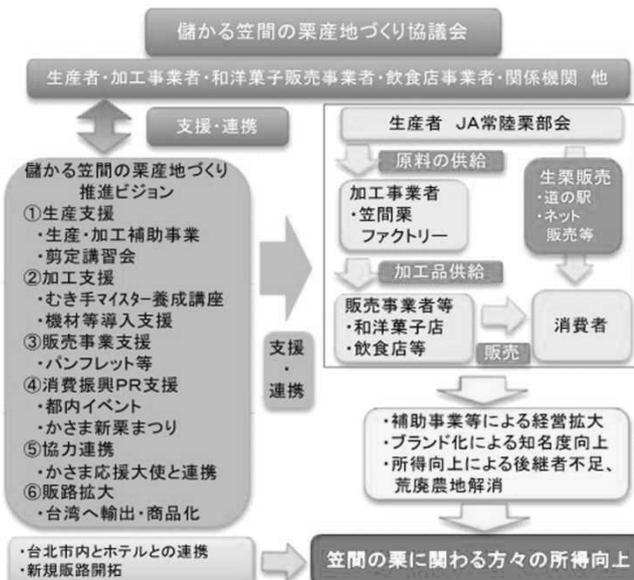
「儲かる笠間の栗産地づくり協議会」を中心にかさま新栗まつり開催、都内でのイベント参加やPR活動を実施していきます。

笠間市農業公社や民間事業者と連携し新たな商品を開発することで、ブランド力強化につなげ、「笠間の栗」産業の強化を図ります。

台湾への販路拡大として、台北市内の有名ホテルと連携し、菓子店へも「笠間の栗」をPRすることで、台湾国内での商品の提供と知名度向上を図ります。



○栗ブランド推進事業外2事業
55,885千円



儲かる「笠間の米」づくりの推進

新規
拡充

主食用米については、販路拡大に努力する米生産者に対し、必要な資機材費用の補助や基礎知識を学べる講座から販売まで一貫性のあるブランディングに支援し、高価格販売をめざします。

オーガニック給食にあっては、モデル校1校を選定し、有機米（特別栽培米を含む。）
・有機野菜を学校給食に提供します。

○笠間市産の米ブランド化推進外2事業



7,273千円

笠間市産米のブランド化の推進
・ブランディング委託
・必要となる資機材の補助

笠間市産米の消費拡大の推進
・米粉の利用促進
・米粉パンの学校給食への提供

オーガニック給食の導入
・有機米および有機野菜の導入
・有機生産者への説明会



【 教育・文化 】

笠間の学びイノベーションの推進

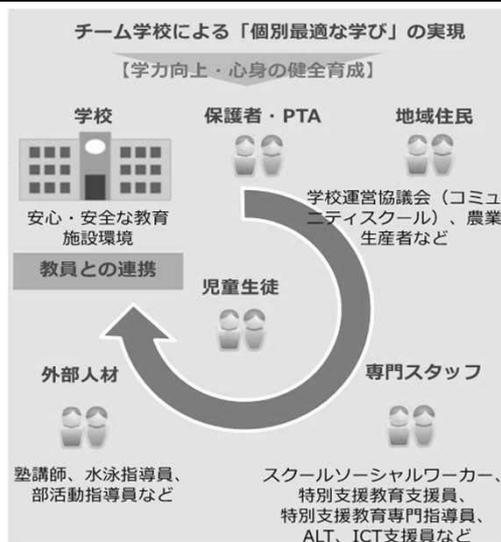
新規
拡充

笠間の将来を担う子どもたちが、社会の変化に主体的に向き合い、自ら未来を切り拓いていく力を身につけることを目標に、外部人材等との連携による新たな「学び」を展開します。

○民間連携等学力向上事業外8事業



166,131千円



日本一の公民館・図書館 サービス事業の充実

拡充

笠間市立公民館では、「かさま志民大学」「かさま子ども大学」などの各講座に、SDGsの目標を設定し、人生100年時代において、市民の誰もが生涯にわたり学習する機会を提供していきます。

また、笠間市立図書館では、蔵書資料や電子書籍の充実を図り、利用しやすく満足度の高い図書館をめざしていきます。

○公民館講座運営事業外2事業



133,245千円

生涯にわたり学び続けるまち

利用者の満足度向上

ICTを活用した学習機会の提供



人生100年時代
デジタル化社会
に向けて
多世代が学ぶ場の充実

電子書籍の充実

SDGsの目標達成



歴史・芸術・文化資源の 継続と活用推進

新規

本市には、笠間焼をはじめ日本のみならず世界に誇る伝統工芸、歴史と風土が育んだ文化芸術資源が数多く存在します。それらを気軽に親しむ機会の創出を図り、豊かな感性を養うとともにそれらを継承し、郷土を愛する意識の醸成を図っていきます。

○文化財活用事業外8事業



49,055千円

文化

- ・富田家住宅・大日堂の保存と活用の推進
- ・かさましこ日本遺産の推進

歴史

- ・笠間城の全容解明推進
- ・筑波海軍航空隊記念館の展示運営

芸術

- ・全国こども陶芸展の推進
- ・芸術鑑賞の促進

文化振興と地域活性化

「スポーツシティ かさま」 の強化

新規
拡充

笠間市のスポーツ資源や特徴ある観光資源を活かし、スポーツの力で地域の諸課題の解決につなげる「スポーツ健康まちづくり」に取り組んでいきます。

また、スポーツのまちとして、本市のイメージアップと認知度向上につなげるため、(一社)笠間スポーツコミッションを核とし、地域経済の活性化に向け「スポーツシティかさま」を推進します。

○かさまスポーツコミッション事業外



44,357千円

(一社)笠間スポーツコミッション

人材育成／イベントの開催／市民の健康増進
大会・合宿の誘致／スポーツツーリズムなど
スポーツの力による地域活性化



パラスポーツ啓発事業

茨城県民球団との連携(車いすソフトボール大会)

子どもスポーツ能力測定事業

子どもの運動機会の提供と能力向上

台湾交流・深化プロジェクト

台湾小学生スナックゴルフの普及推進
台湾留学生等交流会

スポーツシティかさま

【 地 域 づ く り 】

行政区・地域コミュニティ
の再生

拡 充

○行政区事業外3事業 150,845千円

「笠間市行政区への加入及び参加を促進する条例」に基づき、行政区への加入促進に努めるとともに、行政区の課題解決を図るため、行政区運営のアドバイザーを設置します。

また、地域コミュニティ活動やNPO法人などの市民活動に対する支援、活動拠点となる地域交流センターの管理運営など地域活性化の促進を図っていきます。

笠間版デジタル田園都市構想
の推進

拡 充

生涯活躍のまちの形成を継続的に取り組むとともに、デジタル技術の活用による市民生活に密着したサービス向上を図る福原地区をモデルとするデジタル田園都市の形成を、スマートシティ形成の取り組みと連動して推進します。

○笠間版デジタル田園都市形成事業外1事業

63,799千円

【ヘルスケアサービスの実装】



【 自 治 体 運 営 】

デジタル・トランス
フォーメーションの推進

新規
拡 充

○デジタル推進事業外 216,296千円

「笠間市第2次デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づき、新たなサービスや価値を生み出せる職員の育成を重点とし、DXの取り組みを更に進めデジタル社会の実現に努めます。



Ⅲ. 各会計の予算額

～ 令和5年度予算について～

一般会計

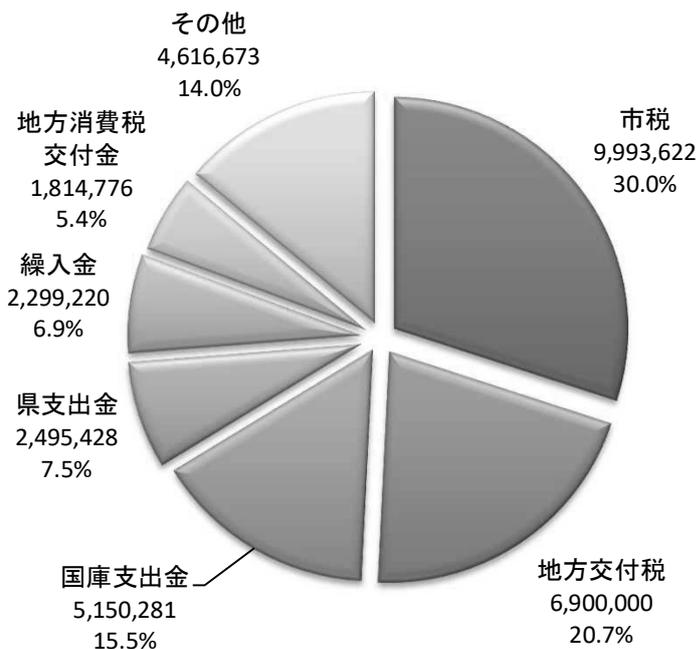
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

令和5年度予算は332億7,000万円
前年度比7億6,000万円増

○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約100億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は69億円、国庫支出金と県支出金をあわせて約76億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



区 分	主 な 内 容
市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を地方自治体に分配するものです。
国庫支出金 (国からの歳入)	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
県支出金 (県からの歳入)	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取崩し金です。目的に沿って使います。
地方消費税 交 付 金	県から地方消費税額の2分の1相当額が、県内市町村に交付されます。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

一口メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が見込まれて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

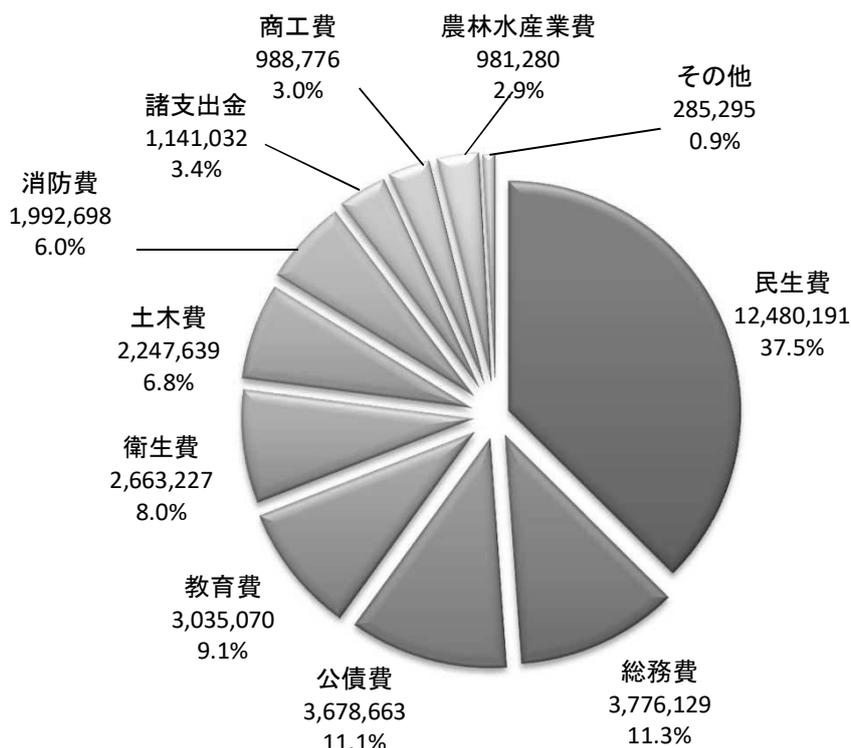
やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が一番多いよ。今年度は、障害者自立支援給付事業費や民間認定こども園入園負担金などが増えているよ。



区分	主な内容
民生費	社会福祉、児童福祉、生活保護などの事業費です。
総務費	庁舎の維持管理、広報紙発行、選挙などの事業費です。
公債費	借入金を返済する事業費です。
教育費	学校・図書館などの事業費、スポーツ大会などの事業費です。
衛生費	各種健診・予防接種、環境対策、ごみ収集などの事業費です。
土木費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
消防費	火災や台風などの防災活動事業費です。
諸支出金	病院事業や下水道事業等への支出金です。
商工費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
農林水産業費	農業や林業の振興のための事業費です。
その他	議会運営費や不測の事態に備えた予備費等です。

ー口メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこでいろいろな審議・議論がされて、決定されるんだよ。

国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



令和5年度予算は75億2,600万円
前年度比1億3,200万円増

今年度は、歳出では、県への国民健康保険事業費納付金が増えています。

主な事業として、生活習慣病を予防する特定健康診査受診率向上のため、AIを活用した受診勧奨を実施しています。

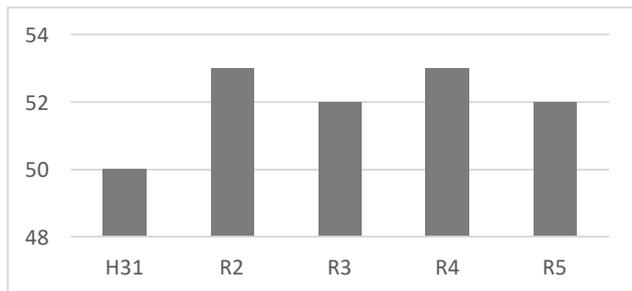


被保険者は約17,000人を見込んでいて、そのうち約5割が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。

1人当たりの保険給付費は年間約31万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)



○主な事業

糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の重症化を予防するため、治療中断者や未治療者に対する受診勧奨や通院中の方への保健指導プログラムを行います。

8,592千円

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



令和5年度予算は10億7,700万円
前年度比6,600万円増

今年度は、被保険者の増加に伴い、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金の増額を見込んでいます。

介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。

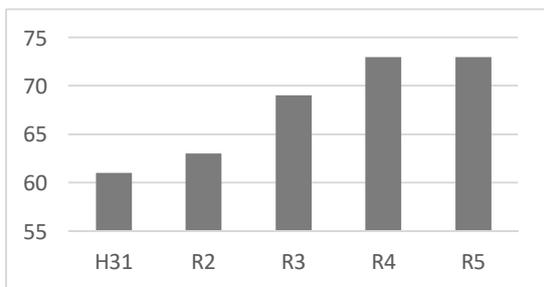
現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。



令和5年度予算は77億5,200万円
前年度比4,200万円増

高齢者が元気で健やかに年齢を重ねられるよう、地域のさまざまな専門職と連携しながら、介護予防や介護の重度化予防を意識した取り組みを継続します。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。
今年度の認定者は、約4,100人を見込んでいるよ。
1人当たりの給付費は約178万円なんだ。

○主な事業（保険給付費以外）

訪問・通所サービス事業

要支援者及び事業対象者が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業（総合事業）」を実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業等）

153,285千円

日常生活支援サービス基盤整備事業

各地区に生活支援コーディネーターを配置し、関係者間の情報共有、地域の支援ニーズとサービスのマッチングを行い、地域で支え合う体制づくりを推進していきます。

14,641千円

介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成料を主な収入としています。



令和5年度予算は2,200万円
前年度比100万円増

今年度は、計画書作成件数を4,020件で見込んでいます。

病院事業会計

笠間市における公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

入院外来診療収益等によって病院事業費用をまかなう『収益的収支』と一般会計からの出資金等によって医療機器の購入費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

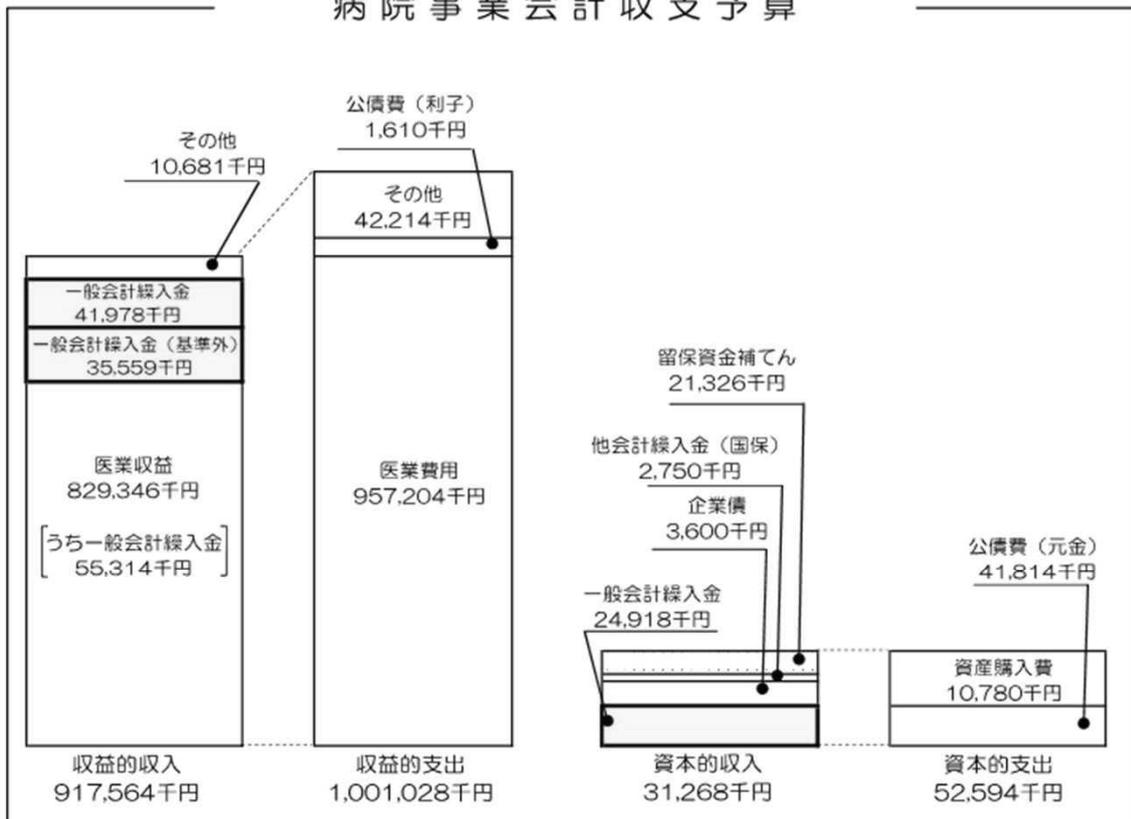
令和5年度支出予算は10億5,362万2千円
前年度比1,253万8千円減

地域医療センターかさまは、笠間市立病院、訪問看護ステーションかさま及びケアプランセンターかさまに加えて、①保健センター、②地域包括支援センター、③病児保育室が併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！



病院事業会計収支予算



地域医療センターかさま

*お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と企業債などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



令和5年度支出予算は43億6,820万8千円
前年度比16億2,424万円増

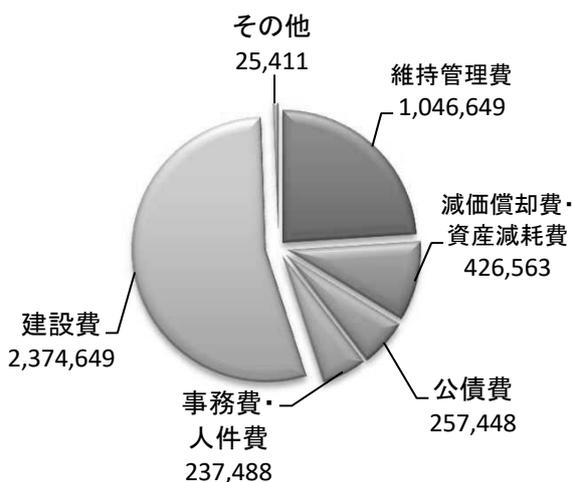
今年度は、動力費や穴戸浄水場の更新などにより増額となっています。

また、引き続き、老朽管更新工事についても実施します。

○令和5年度業務予定量

給水件数	27,172 件	
年間総給水量	6,699,979 m ³	
一日平均給水量	18,356 m ³	
建設改良事業	事務費	7,646 千円
	施設改良費	2,374,649 千円

○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約700万m³。
東京ドーム約5.6個分もあるんだよ。



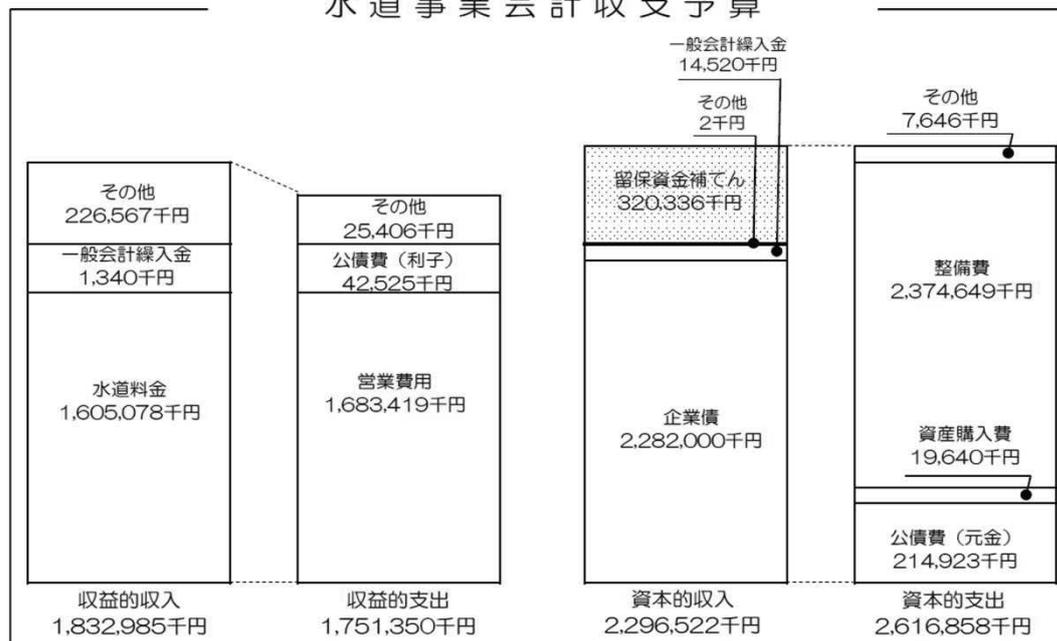
○主な事業

穴戸浄水場整備事業

新たに策定した水道事業第2次基本計画に基づき、老朽化した穴戸浄水場を更新するための更新工事を実施していきます。

1,064,000千円

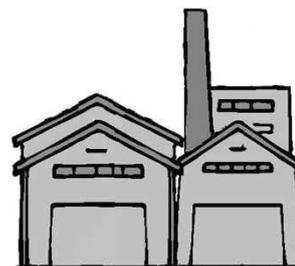
水道事業会計収支予算



工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



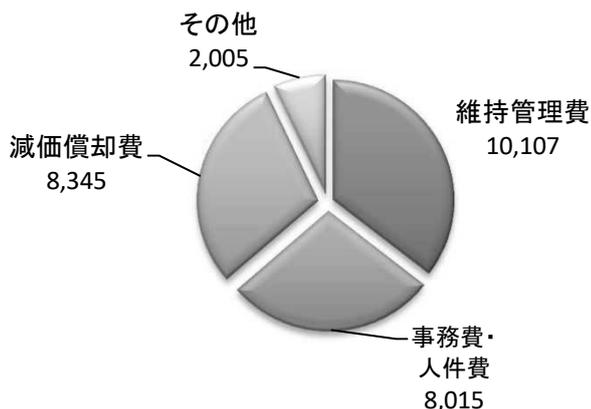
令和5年度支出予算は2,847万2千円
前年度比290万1千円増

今年度は、電気料金の高騰により動力費が増額となっています。

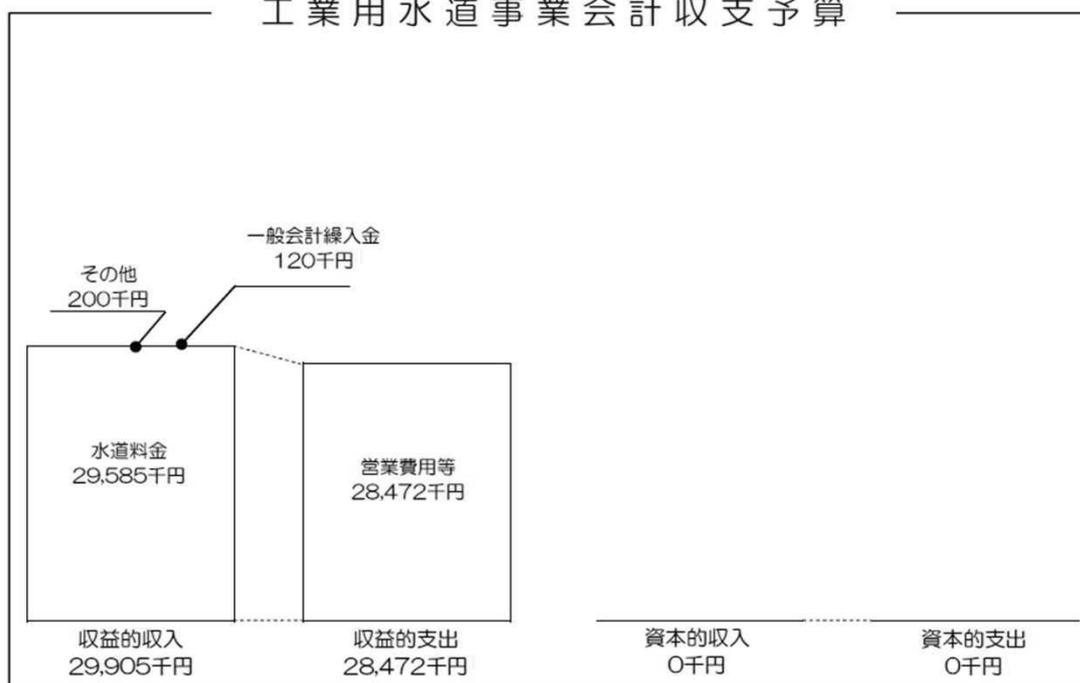
○令和5年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	139,375 m ³
一日平均給水量	382 m ³

○歳出内訳（千円）



工業用水道事業会計収支予算



下水道事業会計

令和5年度から農業集落排水事業が特別会計から企業会計に移行することに伴い、公共下水道事業と農業集落排水事業をあわせて、下水道事業会計となります。

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

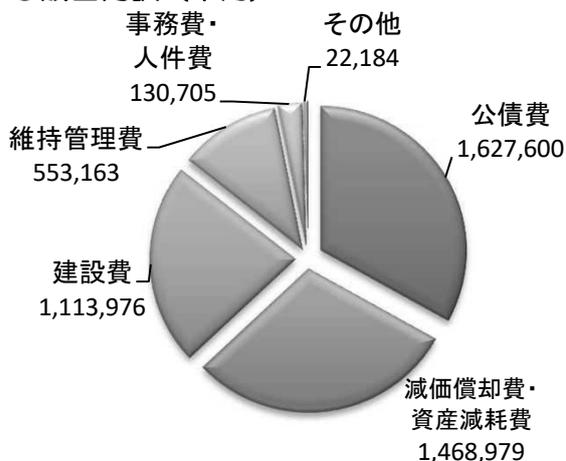


令和5年度支出予算は49億1,660万7千円
前年度比15億4,939万9千円増

今年度は、ストックマネジメント計画に基づき行っている浄化センターともべの汚水処理施設及び汚泥脱水機の更新工事に関わる建設費の増により、予算が増額となっています。

その他、管路施設の新設整備に加え、老朽化した管路の更新工事を行います。

○歳出内訳（千円）



○主な事業

ストックマネジメント計画策定業務

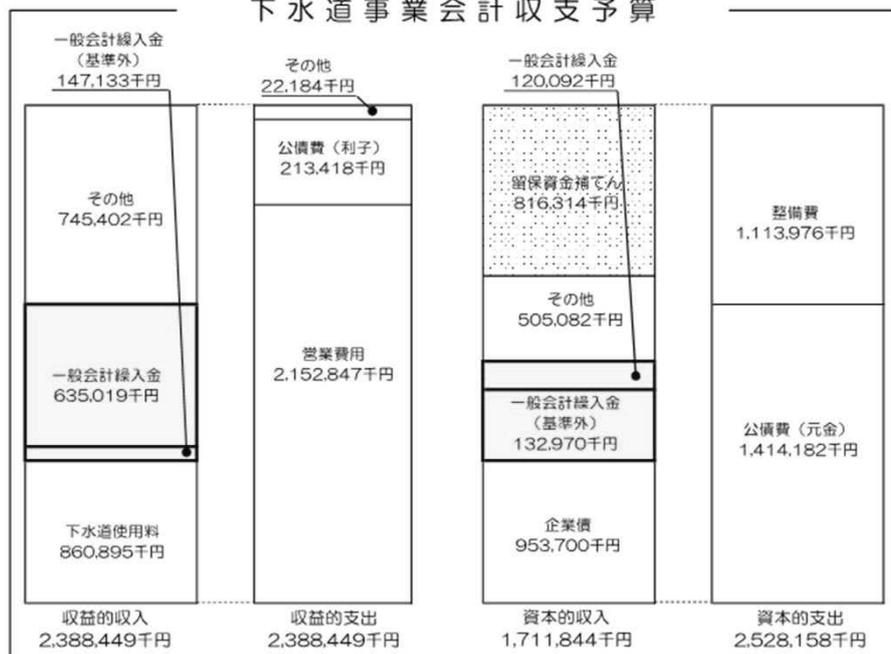
第1期ストックマネジメント計画（令和元年度～5年度）が今年度で終了することから、長期的な視点で下水道施設の点検・調査、修繕・改善を効率的に実施するため、第2期のストックマネジメント計画（令和6年度～10年度）を策定します。

30,000千円



公営企業会計の「発生主義」の考え方のもと減価償却費等を計上していません。公債費とともに大きな割合を占めているよ。

下水道事業会計収支予算

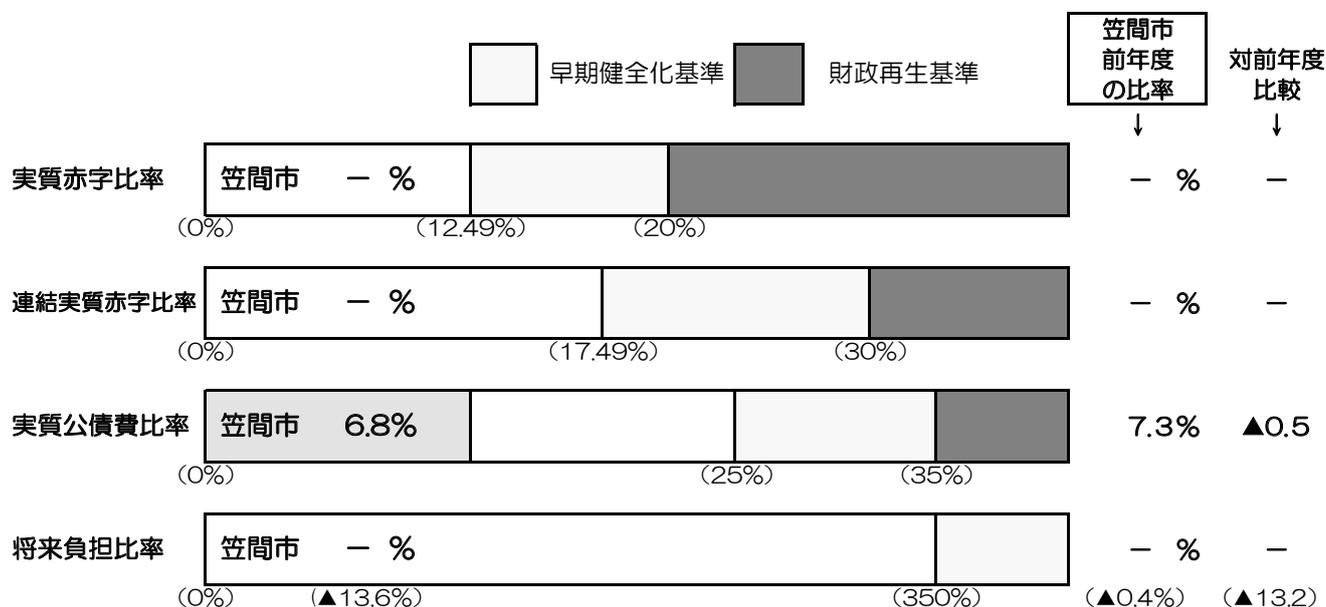


IV. 笠間市の財政状況について

財政健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という。）」では、「**早期健全化基準**」と「**財政再生基準**」の2段階の基準で財政悪化をチェックするとともに、特別会計等も合わせた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにしています。

令和3年度決算における財政健全化法による4つの指標は以下のとおりです。
 なお、笠間市の財政状況において、すべての比率で基準を下回っています。



財政の健全度を判断するには、以下の4つの指標で判断します。

(1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

(2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

特別会計等とは、国民健康保険、介護保険、病院事業、水道事業など。

(3) 実質公債費比率（3カ年平均）

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです。（全会計＋笠間地方広域事務組合などの一部事務組合等が対象）

(4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。（全会計＋一部事務組合＋第三セクター等が対象）

＊**早期健全化基準**：この基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣・県知事への報告、また、毎年度その実施状況の議会への報告、公表が必要となります。

＊**財政再生基準**：この基準以上となった場合は、財政再生計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣の同意を得ている場合でなければ、災害復旧事業等を除き地方債の借り入れができなくなります。

V. 基金の状況

令和5年度末現在高見込額は約160億3,800万円
前年度比約20億9,100万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

令和5年度は、一般会計の基金繰入金が約22億9,500万円となり、前年度当初の一般会計の基金繰入金と比べて約4億8,500万円の増となっています。財政調整基金等の繰入金が増となったため取崩予定額が増加しました。

また、元氣かさま応援基金の積立金の増等により、一般会計の積立予定額は約4億8,000万円となり、前年度当初の一般会計の積立予定額と比べて約1億1,300万円の増となっています。

○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	令和4年度末 現在高見込額	令和5年度		令和5年度末 現在高見込額
		取崩予定額	積立予定額	
一般会計	14,536	2,295	480	12,721
財政調整基金	7,433	870	1	6,564
減債基金	1,623	622	0	1,001
特定目的基金	5,480	803	479	5,156
土地開発基金	1,486	0	1	1,487
特別会計	2,107	277	0	1,830
国民健康保険 財政調整基金	1,359	246	0	1,113
介護給付費準備基金	748	31	0	717
合計	18,129	2,572	481	16,038

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置)
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

元気かさま応援基金 (ふるさと納税積立)

令和5年度 元気かさま応援基金充当見込額は約1億3,800万円

元気かさま応援基金は、笠間市を応援して下さる方々からの「ふるさと納税」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

令和4年度に納めていただいたふるさと納税は、令和5年度のまちづくり支援事業、こども子育て事業、芸術文化支援事業などに活用させていただく予定となっています。

○ふるさと納税

ふるさと納税は、笠間市のまちづくりへの共感やふるさとへの思いを抱く人々の、まちづくりへの参加手法として、自治体へ寄附できる制度です。お寄せいただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。

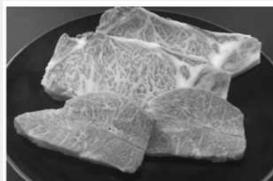
主な返礼品



笠間の栗



モンブラン



常陸牛

公式HPはこちら→



VI. 市債の状況

令和5年度の借入予定額は約50億2,100万円
 令和5年度末現在高見込額は約515億5,200万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

令和5年度は、借入予定額が約50億2,100万円となり、前年度当初借入予定額に比べて約18億3,500万円増えています。一般会計において非常備消防車両更新事業等に活用した緊急防災・減災事業債、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債などが減となる一方、水道事業会計において穴戸浄水場更新事業に充てる上水道事業債が増となるため借入予定額が増となりました。

○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	令和4年度末 現在高見込額	令和5年度		令和5年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	30,656	1,782	3,594	28,844
合併特例債	13,497	1,577	1,718	13,356
臨時財政対策債	14,185	200	1,292	13,093
その他	2,974	5	584	2,395
病院事業会計	950	3	42	911
水道事業会計	3,209	2,282	215	5,276
下水道事業会計	16,981	954	1,414	16,521
合計	51,796	5,021	5,265	51,552

○合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、対象事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって措置されるという、他の地方債に比べて非常に有利な財源となっています。

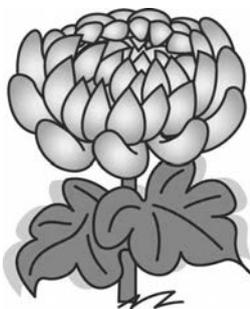
笠間市は、令和5年度までに、282億150万円（まちづくり振興基金を除くと265億1,050万円）の借り入れを予定しています。合併特例債（建設事業）には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円（まちづくり振興基金積立分は含まない。）が上限となっており、発行可能残額は約57億円となる見込みです。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

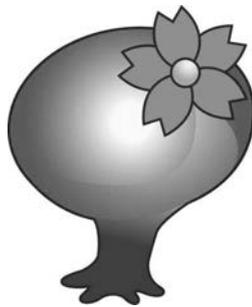
笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心してやすらぎのあるまちにしよう

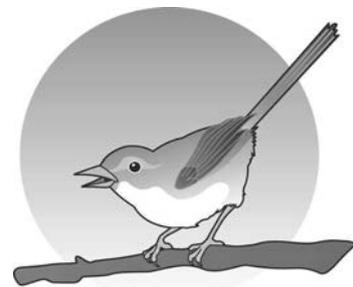
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

令和5年度「わかりやすいかさまの予算」

令和5年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

加支